被災者への救援支援物資・義援金、市への寄付金

熱い支援に感謝

東日本大震災で大きな被害を受けた本市に、救援物資や義援金、市への寄付金が全国各地から寄せられました。

11月11日～12月10日までに受け付けた分は次のとおりです。（敬称略）熱い支援ありがとうございます。

久慈市に寄せられた義援金1,084件　8,638万9,594円（12月10日現在）

救援支援物資

■県外■

【山形県】▼室岡ふつよ

【高知県】▼三石せいや

義援金

■県外■

【山形県】▼室岡ふつよ▼戸田千和

【千葉県】▼関口英行

【東京都】▼五味秀春

【神奈川県】▼神林洋行

【京都府】▼内山直哉

■市内■

【団体】▼音楽でまちづくり協議会

【個人】▼下嶽定藏

■口座振替等■

【個人】▼チバ・アキヒコ▼スズキ・ヒロユキ▼ヨココフジケ・ヨココフジ・ヒテ▼イトウ・イサム

【その他】▼匿名1件

寄付金

■県外■

【宮城県】▼丹野綾子

【山形県】▼戸田千和

【東京都】▼アサヒグループホールディングス㈱▼武州交通興業㈱▼山田和美

【山梨県】▼小野文子

【その他】▼匿名1件

■市内■

【団体】▼久慈大正琴の会

募集　義援金ご協力を

市内の被災した方々に分配する久慈市地震災害義援金を募集しています。

▼受付期間

平成25年3月31日まで

▼受付場所（現金）

①社会福祉課（市役所1階）

②山形総合支所

③各支所（宇部、侍浜、山根）

▼その他の受付方法

①現金書留…宛先はこちら

〒028－8030
久慈市川崎町1番1号
久慈市役所社会福祉課

②口座振込…入金前に社会福祉課までご連絡をお願いします。

岩手銀行久慈中央支店
普通預金2057188
久慈市地震災害義援金

問社会福祉課　☎52－2119

※可能な限り、支援者からの申し出などに基づいて掲載しましたが、名称などに間違いがあることも考えられます。申し訳ございませんが、ご了承くださいますようお願いいたします

TOPICS　復興関係

キズナ強化プロジェクト

もやい結びで交流深める

漁業者に教わりながら「もやい結び」に挑戦する海外の高校生

東日本大震災の経験を共有し、被災地が復興を目指す姿や日本の魅力を海外に発信するキズナ強化プロジェクト。久慈市を訪れた東南アジアやオーストラリアなどの14カ国84人の高校生訪日団は12月4日から7日までの間、市内で震災学習列車の乗車や郷土料理作りの体験などを通じて被災地の様子を学びました。

5日は36人が侍浜町の宿泊施設で地元漁業者団体の浜人倶楽部（はまんくらぶ）（桑田鉄男代表）と交流を深めました。

映像で津波の様子を学習した後、もやい結びなど漁業で使うロープの結び方を体験。慣れない作業に苦戦しながらもきれいな結び目をつくり、漁業者の「オーケー！」の評価に喜んでいました。

オーストラリアのハナ・アラムさん（15歳）は「津波は怖かったけど、被災地の皆さんが頑張る姿に感心しました」と話していました。

上／写真と映像で津波を学習。引き潮の様子などの質問が出されました
下／ロープワークを体験

TOPICS　復興関係

元木沢公民館・湊中下公民館

復旧・再建を地域で祝う

あいさつをする元木沢町内会の一沢明男会長

東日本大震災の津波で被害を受けた地域の公民館の復旧や再建を祝う会が11月23日と24日に行われました。

23日は長内町の元木沢公民館災害復興祝賀会が同公民館で開催。住民ら約60人が地域の活動拠点の復旧を祝いました。祝う会では歴代の町内会長らへの感謝状の贈呈などが行われ、参加者は地域の絆を改めて確認。戸崎健次郎館長は「地域の活動には欠かせない拠点です。行政や地域の皆さんの協力に感謝しています」と話し、復旧を喜びました。

24日は湊町の湊中下公民館の再建記念式が同公民館で開催。住民ら約50人が参加しました。同館再建促進委員会の山崎毅会長は「震災で地域の要となる施設がなくなり打ちひしがれましたが、多くの手助けを受け再建できました。町内の絆もますます強くなったと思います」とあいさつ。参加者は親睦を深め、地域活動への思いを新たにしました。

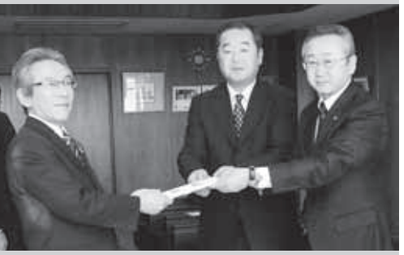
地区の子どもたちのヨサコイソーランが、湊中下公民館再建に花を添えました

山内市長に目録を手渡し、早期の復興を願う菅原支社長（右）

売上から市に寄付

海女フェスに役立てて

アサヒグループホールディングス株式会社（本社・東京都、泉谷直木社長）は12月4日、東日本大震災の被災地復興への支援活動の一環として200万円を市に寄付。菅原雅之岩手支社長は「『北限の海女フェスティバル』の開催に役立ててほしい。今後も継続的な復興支援に取り組みます」と思いを語っていました。


山内市長に目録を手渡す有川所長（右）と小山田所長（中央）

市に防犯灯を寄贈

防犯灯で明るく豊かな社会を

12月13日、東北電力㈱久慈営業所（有川増博所長）と㈱ユアテック久慈営業所（小山田一則所長）はＬＥＤ防犯灯25灯および取付工事一式を市に寄贈。両社の寄贈は昭和43年から続いているもので累計456灯になります。有川所長は「できるかぎり希望の場所に設置していきたい」とあいさつ。山内市長は「犯罪の少ない明るい豊かな社会形成のため、いただいた防犯灯を生かしていきたい」と感謝の言葉を述べました。

TOPICS　支援関係

旭町　京の森町内会が協定

要援護者対応町内全体で

締結後、協定書を掲げる香木会長（中央右）

11月28日、市と旭町　京の森町内会（香木正会長）は災害時要援護者名簿の共有等に関する協定を締結しました。協定書に調印を終えた香木会長は「やっと締結にこぎ着けました。これまで町内での要援護者の対応は民生委員1人に任せっきりの状態だったので、今後は町内全体で対応できるようにしたいです」とあらためて締結の意義を確認しました。

同協定の締結は今回で39団体になりました。災害時など、いざという時に特に必要になる地域の支え合い。今後、取り組みの広がりが期待されます。